

# **ラ**コッジュマーケット

### (先進国国債利回り・為替)

## **POINT**先進国国債利回り

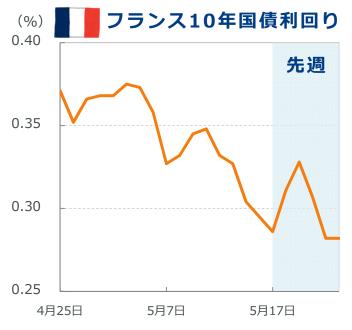
【2019年5月20日~2019年5月24日】

#### 国債利回りは一段と低下

- ◆米中通商交渉が事実上物別れに終わり企業 業績への悪影響が意識されたことや、英国 のEU離脱を巡る不確実性の高まりなどを 背景に投資家のリスク回避姿勢が強まりま した。
- ◆安全資産とされる国債は買われ、米国長期 金利は一時2.29%と2017年10月以来の 水準まで低下しました。







- (注1) データは2019年4月25日から2019年5月24日(日次)。
- (注2) 2019年4月29日~2019年5月6日の日本の債券市場はゴールデンウィークのため休場。
- (出所)Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

1/2

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告な、変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。





# **ラ**コッジュマーケット

### (先進国国債利回り・為替)



【2019年5月20日~2019年5月24日】

#### リスクオフの円買い続く

- ◆米政権による華為技術(ファーウェイ) の禁輸措置検討報道が意識されるなど、 米中貿易交渉を巡り投資家のリスクセン チメントが改善しにくい環境が続き円が 対主要通貨で上昇しました。
- ◆一方、豪ドルは5月18日の総選挙で市場 予想を覆して与党・保守連合が勝利した ことを受けて買い戻しの動きが広がり、 円は対豪ドルでは横ばいでした。







- (注1) データは2019年4月25日から2019年5月24日(日次)。
- (注2) 個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。
- (出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。



2/2